

令和 8 年度 第 2 回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和 8 年 10 月 20 日（火）15:00～16:30
出席評議員	秋葉評議員、安藤評議員、川原評議員、桑原評議員、甲原評議員、小林評議員、高場評議員、中川評議員、町田評議員（五十音順）
開 催 場 所	全国健康保険協会埼玉支部 大会議室 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター（JACK 大宮）17 階
議 題	【報告事項】 ①議長選任、議長代理の選出 ②2027（令和 9）年度平均保険料率 ③中期戦略プラン（支部戦略プラン）および 2027（令和 9）年度事業方針 ④2026（令和 8）年度埼玉支部事業計画実施状況

議 事 概 要	
評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。 ① <u>議長選任、議長代理の選出</u> 全会一致で議長及び議長代理を選出。 ② <u>2027（令和 9）年度平均保険料率</u> （学識経験者） 資料 1-1 の 48 ページに記載されている平均保険料率を引下げるかどうかを判断する「目安」（メルクマール）に対応する推計資料が、49 ページに複数示されている。例えばケースⅠの場合「今後 5 年間、単年度収支が赤字にならない」かつ「今後 10 年間、準備金の残高が医療給付費等の 3 か月分を下回らない」という目安に当てはまるのか。それとも全てに当てはまらないと、平均保険料率を引下げる議論にならないのか。 （事務局） 全てのケースに当てはまる必要があるかは決まっておらず、今後の議論になる。これらのケースはあくまで推計である。賃金の上昇率や医療費の伸び率が妥当と確認でき、目安に当てはまった場合には、そこから平均保険料率の引下げの議論が始まることになると思われる。 （学識経験者） 今年度、平均保険料率を 10%から 9.9%に引下げた。半期が経過した時点で、引下げによる収支への影響がわかれば、9.9%への引下げが妥当だったか判断できる。判断できるような中間決算のようなものはあるのか。	

(事務局)

今年度の収支見込みは、12月に公表されると聞いている。今年度は、収入の元になる平均標準報酬月額や被保険者数も伸びている。これらによる収入増を取り除いたものが、実質的な引下げの影響になると考えられる。これらの影響も含んだ今年度の収支見込を、本部の公表後にお示ししたい。

(学識経験者)(評議会の意見として)

今年度は平均保険料率が9.9%に引下げとなった。来年度、朝令暮改のように10%に戻すことはあり得ないとする。一方、9.8%への更なる引下げについては、12月に公表される令和8年度の収支見込みを見ないとわからない。現段階では、平均保険料率9.9%を維持すべきである。

③ 中期戦略プラン(支部戦略プラン)および2027(令和9)年度事業方針

(学識経験者)

埼玉支部の業種別の健診受診率データを、例えば健診受診率トップの山形支部や全国の業種別データと比較したい。そうすれば、埼玉支部の特徴が全国共通なのか、埼玉支部特有なのかという視点で見ることができ、分析が広がると思われる。

資料とは関係ないが、最近、個人情報の漏洩が問題となっている。サイバーセキュリティ対策を中期戦略プランにも反映し、協会けんぽ全体でしっかり取り組むべきである。DXの推進も重要だが、同時に、情報守る面もしっかり取り組むことが重要である。

(事業主代表)

埼玉支部の状況(健診受診率等)について、前年度と比べた増減評価も行うべきである。また、どのような取組を行い、その結果(健診受診率等)がどうなったのか、その結果が他支部と比べてどうなのかを見ることも重要である。

(事務局)

山形支部の健診受診率が高いのは、健診機関の多さ、県民性(健康リテラシー)、県の取組姿勢などが主な要因と聞いている。また、医療提供体制が充実している地域では、健診を受けられる機会が多くなり、受診率も高くなる要因になり得る。埼玉支部の健診受診率はかなり低いため、様々な角度から検証し、効果的な取組を進めていきたいと考えている。

なお、システムのサイバーセキュリティ対策は、本部で強化・対策を継続的に行っている。一方、支部では、健診機関など外部の委託業者とやりとりがある。外部委託業者とのメールの取り扱いには細心の注意を払っている。

(学識経験者)

健康リテラシーを向上させることが重要である。

④ 2026（令和 8）年度埼玉支部事業計画実施状況

（学識経験者）

健康保険料率の広報動画の制作は、どうなっているか。

（事務局）

12 月に完成予定である。最初に、事業所の健康保険委員へ広報する予定である。

特記事項

- ・ 次回は、令和 9 年 1 月 19 日開催予定